

授業科目名	【G】 情報法 I	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(---・情報)							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための(---・情報選択)科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「情報社会・情報倫理」(高一種免情報)							
サブタイトル	情報の刑法的保護			担当者	青木 陽介			
授業概要	【概要】	本講義では、「情報法」と呼ばれる領域のうち、特に、刑事法に関連する部分を扱う。						
	【到達目標】	情報に対する侵害につき、刑法上いかなる保護があり得るのか、また、情報化社会において登場することとなった犯罪としてどのようなものがあるのかについて、基本的な理解を身につける。その際、それらが刑法の基本原則・原則といかなる関係に立つのかを理解し、刑法総論や刑法各論で学習したことを応用できるようになることも目標とする。						
履修条件	特になし。ただし、下記「他科目との関連性」に留意すること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ、刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ(いずれも担当教員は問わない。)を履修済み又は併行して履修中であることが望ましい。							
教科書	鎮目征樹＝西貝吉晃＝北條孝佳編『情報刑法Ⅰ』(弘文堂、2022)(※ただし、本書は講義内容の全体をカバーしているわけではないため、必要に応じて下記参考書も参照することが望ましい。)							
参考書	①: 中野目善則＝四方光(編)『サイバー犯罪対策』(成文堂、2021) ②: 松井茂記＝鈴木秀美＝山口いつ子(編)『インターネット法』(有斐閣、2019) ③: 石井徹哉(編)『AI・ロボットと刑法』(成文堂、2022)							
評価方法	中間試験・学習到達度確認試験(85%)および毎回の授業における小課題(15%)により評価する。							
フィードバック方法	配布したレジュメ上の空欄箇所を埋める等の小課題を毎回出題する。課題はclassroomにて提出してもらい、それを添削した上で返却する。また、中間試験および学習到達度確認試験についても、模範解答を示す等の形でフィードバックを行う。							
評価基準	上記授業単元の内容につき、問題の所在や判例・学説の状況をよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容についての理解度や表現内容に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験を欠席した場合、評価不能のため「F」とする。							

授業科目名	【G】 情報法 I	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	刑法典において情報はどのように扱われているのか、インターネット犯罪と刑法の適用範囲					
	予習: 教科書(49頁以下)で犯罪成立要件を復習する。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
2	インターネット上の中傷と侮辱罪の成否(テラスハウス事件を題材に)					
	予習: 侮辱罪の近時の改正について調べる。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
3	インターネット上の言論と名誉毀損罪の成否					
	予習: 参考書②の該当箇所(64頁以下、229頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
4	秘密の保護について、個人情報の保護、通信の秘密侵害罪について					
	予習: 教科書の該当箇所(124頁以下、301頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
5	情報の不正入手と犯罪(財産犯、不正競争防止法)の成否					
	予習: 教科書の該当箇所(279頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
6	コンピュータ犯罪(1):昭和62(1987)年の刑法一部改正について					
	予習: 教科書の該当箇所(185頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
7	自動改札機を悪用したキセル乗車と犯罪の成否、中間試験					
	予習: 教科書の該当箇所(254頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
8	コンピュータ犯罪(2):平成23(2011)年の刑法一部改正について、中間試験の解説					
	予習: 教科書の該当箇所(148頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
9	不正アクセスに対する規制について					
	予習: 教科書の該当箇所(98頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
10	児童ポルノ処罰法について					
	予習: 参考書①の該当箇所(76頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
11	盗撮画像の規制について、いわゆるリベンジポルノ防止法について					
	予習: 盗撮規制の近時の改正について調べる。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
12	著作権の侵害(違法アップロード・ダウンロード、リーチサイト規制、ファイル共有ソフトの開発・提供)と犯罪の成否					
	予習: 参考書②の該当箇所(255頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
13	プロバイダーの刑事責任					
	予習: 参考書②の該当箇所(301頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
14	AIと刑法について					
	予習: 参考書③の該当箇所(3頁以下)を読む。(90分)		復習: 講義内容を整理・確認し、不明点を参考書等で調べる。(90分)			
15	学習到達度確認試験及びその解説					
	予習: 配布資料やノートの確認。(120分)		復習: 試験問題で分からなかった箇所を、模範解答で確認する。(60分)			
その他	講義では適宜条文を参照するので、最新の六法(出版社は問わない)を必ず持参すること。 なお、私語等の授業を妨害する行為を行う学生に対して、退室を命じることがある。 ※Gカリ:法【選択必修修(シ)】 スポ【選択必修修(シ)】 情【選択必修修(F)】					